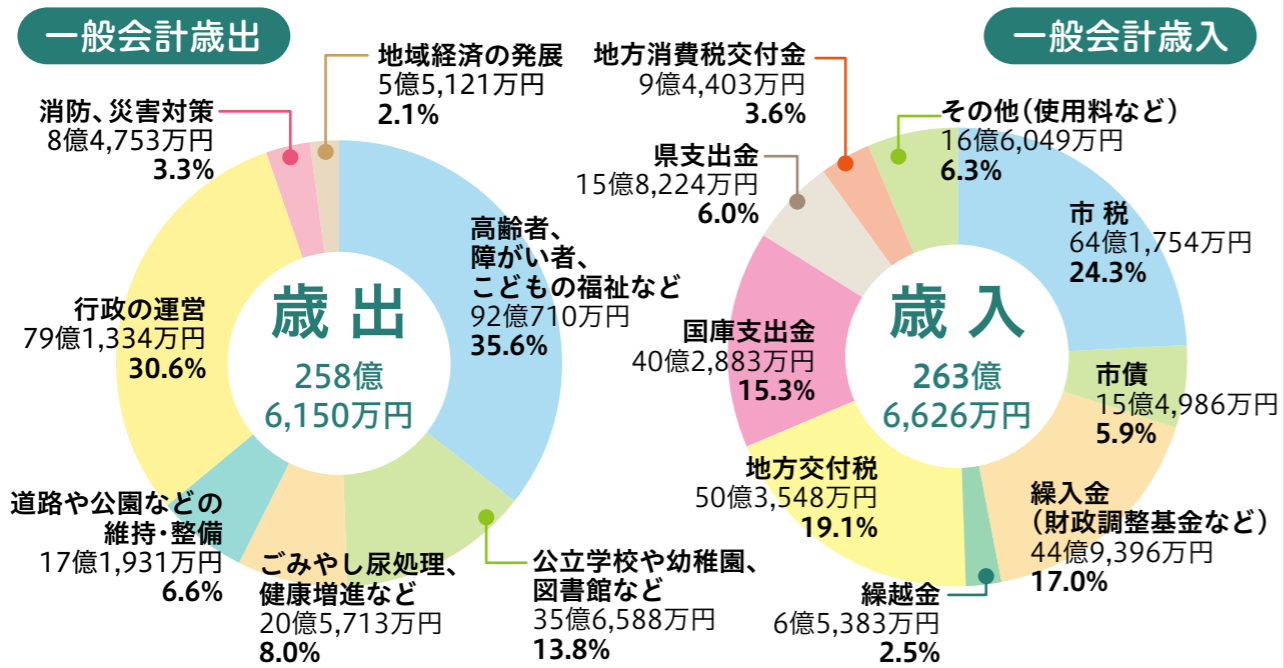


# 決算

## 歳入、歳出の決算状況



会計別	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入、歳出差引額
一般会計		263億6,626万	258億6,150万	5億476万
	(平成29年度決算額)	(224億6,731万)	(218億1,347万)	(6億5,384万)
特別会計				
	国民健康保険事業	66億8,041万	66億4,619万	3,422万
	後期高齢者医療事業	10億2,676万	9億9,346万	3,330万
	介護保険事業	48億9,990万	48億5,999万	9,391万
	住宅新築資金等貸付事業	1,330万	683万	648万

※端数調整のため、差引額が合わないことがあります



**決算とは**

海さん、そもそも決算ってどんなものですか。

決算は、年度の始まりの4月1日から翌年の3月31日までの1年間に、市の収入がどれくらいあって、どのようにお金を使ったかを数字で表したもののよ。家庭でいえば、1年間家計簿をつけた結果みたいなものね。

なるほど。家計簿といわれると私もイメージしやすい

**歳入では市税は微増、地方交付税は微減**

まずは歳入のグラフを見て。市の収入には独自で調達する自主財源と、国や県からもらう依存財源があるの。主な自主財源である市税は約64億円で、転入者の増加や新築家屋の増加のおかげで平成29年度決算に比べて2・8%増加したわ。その反面、主な依

**歳出では教育に関する費用が大幅に増加**

それでは、実際にどんなことにお金が使われたのか教えてください。

じゃあ歳出の話をするわね。歳出の内訳をその使う目的で分けたグラフでみると、高齢者、障がい者、子どもの福祉などに関するものが約92億円で、最もその割合が大きい。それに、私立保育所の運営や児童手当の給付の増加などによって平成29年度決算に比べて1・1%増加したわ。また、小中学校や幼稚園、図書館など教育に関するものも約36億円で、福岡小学校など小中学校の校舎の整備や改修などにより36・6%の増加となったのよ。

**語句の説明**

**一般会計** 市の運営の基本的な経費を計上する会計

**特別会計** 特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して経理する会計

**市税** 市民税や固定資産税など市に納められた税金

**地方交付税** 等しい行政サービスの提供のため、一定の基準により国が配分するお金

**財政調整基金** 年度間の財源の不均衡を調整するための基金。一般家庭でいう貯金

問い合わせ 市財政調整課 ☎ 43・8114

平成30年度の一般会計決算と4つの特別会計決算が、9月議会で承認されました。決算について議会の認定を受ける際には、予算の執行によって実際にどういった成果を上げることができたのかについて、主要な施策の成果を説明する書類として、行政評価の手法を取り入れて作成した「平成30年度主要施策成果報告書」を提出しました。この内容については市公式ホームページでも見ることが出来ます。今月は、決算の概要として平成30年度に市のお金がどのように使われたかをお知らせします。

**未来への積極的な投資**

市の人口は子育て世代を中心に増加していますよね。そうね。市の人口は9月末現在で、6万5,916人で、前年の同月と比べても、1634人増えているのよ。これに対応した保育や教育環境の整備などは喫緊の課題なの。また高齢化に伴う社会保障費の増加や公共施設の老朽化対策など、今後も財政需要の増加が見込まれているのよ。

**公共施設等総合管理基金を創設**

歳入、歳出ともに平成29年度決算に比べて大幅に増加しているのはなぜですか。

それはね、今後見込まれる公共施設の老朽化に対応していくために、更新、修繕、解体などに充てるための基金である「公共施設等総合管理基金」を創設したためよ。その額は33億円で、財政調整基金を使って積み立てを行ったの。このことで実際の市のお金は増えたり、減ったりしたわけではないのよ。

そうね。それともに厳しい財政状況の中でも、未来への積極的な投資を行っている必要もあるの。それでは主要施策成果報告書の中から、平成30年度に行った事業について、昨年3月に市長が掲げた市政運営の方針の4つの柱に沿って、その主なものを紹介しますね。

「新しい福津」の推進

「稼げるまち」への転換

地域商社「福津いざいざ」事業（6278万円）

平成30年9月、地域商社「一般社団法人福津いざいざ」をあんずの里市利用組合、ふれあい広場ふくま利用組合、宗像漁業協同組合、市認定農業者協議会と共に設立しました。市内の3つの直販所をはじめ、関係団体との協力・連携体制が構築され、農水産品の流通促進について地域商社が旗振り役となることで、農漁業関係者間の交流が生まれ、また、これにより直売所と生産者の交流や、事業者の新たな取り組みの創出につながりました。

今ではふるさと納税返礼品の開発や6次産業化などにも取り組んでいます。

今後もこうした福津いざいざの取り組みを推進するため市職員を派遣するなど、支援体制をより一層強化していきます。

魚センター活性化事業（1億8563万円）

魚の加工場の整備によって、あんずの里市、ふれあい広場ふくまへ水産物が流通するようになりまし。また、魚センターの改修によって活魚や加工品、地元農産物が充実し、販売体制を整えることができました。

今後は3つの直販所の利用者の分析を進め、それに基づいて、市の特色を打ち出しながら、加工品の製造や販売のためのPRを行っていきます。また、市外での新たな販路の開拓を目指します。



▲福津いざいざが運営している改修後の魚センター

共働のふるさとづくり寄附金促進事業（4115万円）

全国からふるさとづくり寄附金を募り、寄附者に対して返礼品として市特産品の提供を行いました。インターネットなどでPRを行い、寄附金収入の増加を図りました。寄附金額は平成29年度の1千7百万円から7千9百万円となりました。引き続き返礼品の協力事業者に働きかけ、魅力ある返礼品の拡充を図ります。

暮らしやすい福津の推進

安心・安全のまちづくり

防災事業（800万円）

県から津波や高潮、河川の浸水想定が新たに発表されたことに伴い、市総合防災マップを改定し、全世帯に配布しました。また、防災マップは市公式ホームページでも確認できます。さらに全国自治体初の取り組みとして、スマートフォンサイト「防災すまっぼん!『福津防災』」でも情報を提供しています。

人がつながる福津の推進

「四つ目の柱」

認可保育所定数確保事業（1億8543万円）

子育て世代の転入で、今後も子どもの数の増加が予測されています。これまでも待機児童対策を行ってきましたが、新たに定員120人の日蔭野あおぞら保育園の開所に向けた取り組みを進めました。これにより6月に開所することができました。

郷づくり体制の推進

郷づくり活動拠点整備事業（3698万円）

上西郷郷づくり交流センターの整備を行いました。整備は旧上西郷幼稚園の改修により実施しました。また、神興地域と勝浦地域の郷づくり交流センターを整備するため設計業務を行いました。また勝浦は学童保育所を併設する内容でこれを行いました。今後は拠点の整備により、地域住民の相互交流など、地域づくり活動の活性化が進むことが期待されます。

さまざまな分野の事業がありますね。まちづくりには、いろいろなことにお金が必要なんです。

そうですね。なので、歳入の確保も併せて行っていかないと。

平成30年度は特に基金の運用にも力を入れていて、自主財源である財産収入が約1億9千万円となつて、平成29年度の約6千6百万円から、約3倍になったの。

海さん、市の財政の状況はどうなんですか。

家計に例えると市にも借金である市債と貯金である基金があるの。市債の残高は約198億円で、平成29年度と比べて約3億円減少したの。

基金の残高は約95億円で、約7億円減少したのよ。これは主にさっきの福岡小学校整備改修事業に教育施設整備準備金を取り崩して充てたことがその要因よ。

指標からみた市の財政状況

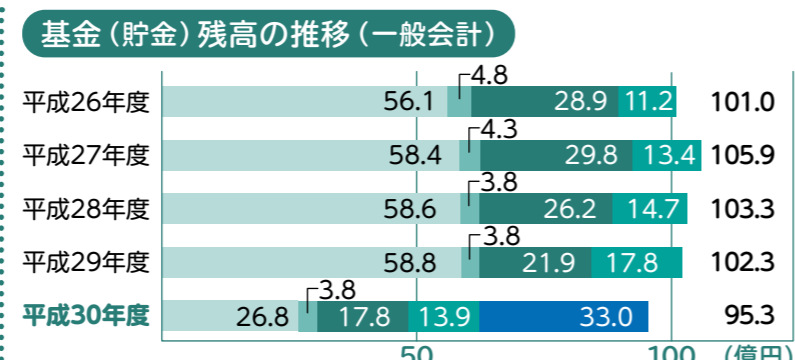
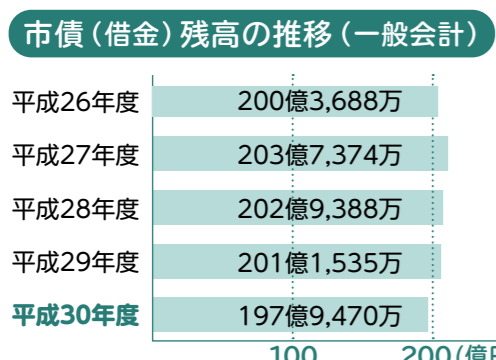
その他にも財状況を見るのにはさまざまな指標があるの。財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための4つの指標があつて、健全化判断比率というの。赤字比率は、いずれも黒字となつているわ。

実質公債費比率も6・5%で、平成29年度の6・3%からほぼ横ばいよ。将来負担比率は市の借金である市債と貯金である基金も含んで財政状況を

確認するものなの。これが9・6%となつて、平成29年度の2・2%から7・4%上昇したの。これの主な要因は、冒頭の歳入のところで紹介した地方交付税の今後の見込みが減少したためよ。

でも全ての数値で早期健全化基準を超えていませんね。

そうですね。でも、だからといって油断は大敵よ。そうですね。限られたお金、大切に使うっていいかな。



健全化判断比率

指標	内容	結果	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.95%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	17.95%
実質公債費比率	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	6.5%	25%
将来負担比率	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債の割合	9.6%	350%

※早期健全化基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となります

子どもたちへの福津の推進

保育・教育環境の整備

学童保育所整備事業（346万円）

受け入れ児童数の増加が見込まれる福岡南小学校学童保育所の増設の設計業務を実施しました。



▲「防災すまっぼん!『福津防災』」のホームページを登録して、防災マップをいつでも確認できるようにしましょう



福岡小学校整備改修事業（10億7917万円）

福岡小学校の教室棟は建築後約50年が経過し、老朽化が顕著であったため、その対策が急務となっていました。さらに、児童数の急増による教室不足にも対応する必要がありました。そこで平成29年度から福岡小学校教室棟の増築建て替え工事を実施し、平成30年12月に完成しました。併せて、増員された教職員の職務環境を確保するために、職員室の拡張工事を行いました。今後も児童数の増加が見込まれ、再び教室数が不足することが予測されているため、この対応を行っています。



▲増築・建て替えした福岡小学校の新社舎

# 下水道事業会計の決算

市には、一般会計と4つの特別会計の他に下水道事業会計があります。下水道事業は平成28年度から地方公営企業法を適用し、民間企業のような複式簿記による会計方式をとることで、資産や負債などの現金の出入りを伴わないものも含めて管理するようになりました。

## 下水道事業会計 決算の概要

海さん、下水道事業会計の決算の内容について教えてください。

下のグラフを見て。会計は収益と資本の2つに分かれています。収益的収支は、下水道使用料など19億4,591万円の収入に対して、下水道管や福岡浄化センター、津屋崎浄化センターの維持管理費など、17億7,091万円の支出があったのよ。

収益的収支は黒字だったんですね。資本的収支について教えてください。

畦町や東福岡で行った下水道工事のための建設改良費などで10億6,096万円の支出があり、その財源として国からの補助金などで5億3,387万円の収入があったのよ。

えっ、資本的収支は赤字だけ大丈夫なんですか？

決算額だけを見ると赤字ね。でも資本的収支のグラフを見て。補てん財源という項目があるのよ。これは、収益的収支の減価償却費など、実際に現金の支出を伴わない費用によって内部に残った現金で不足額を補てんしたんだよ。

今回の企業債残高はどれくらいあるんですか？

約15.8億円で、市民1人当たり換算すると約24万円になるの。借金の残高としてはピークを越えていて、これから年度ごとの償還金はまだ増加するけれど、残高自体は徐々に減っていく見込みなのよ。ただ、下水道事業という企業を安定して運営していくには、資金管理をきちんとしていくことが大切ね。

今の企業債残高はどれくらいあるんですか？

約15.8億円で、市民1人当たり換算すると約24万円になるの。借金の残高としてはピークを越えていて、これから年度ごとの償還金はまだ増加するけれど、残高自体は徐々に減っていく見込みなのよ。ただ、下水道事業という企業を安定して運営していくには、資金管理をきちんとしていくことが大切ね。

ういったことに使われているんですか？

下水道使用料は汚れた水をきれいにする経費に使っているのよ。処理場や下水道管の維持管理費や、減価償却費、企業債の利息に充てているの。その収入は年々増えているけれど、一方で今後は古くなった施設の更新に必要な経費の増加が見込まれているの。今は一般会計からの補助金で補っているところもあるけれど、下水道事業会計として独立してやりくりしていくために、長期的な視点で経営していく必要があるのよ。

## 下水道は正しく使いましょう



市内の公共下水道の整備状況は、平成30年度末で普及率が98.8%となり、多くの人々が利用できるようになりました。

下水道は快適な生活のために必要な施設ですが、正常に機能させるためには、利用する皆さんのご協力が不可欠です。

### ●台所では、油や食べ残しなどを流さないでください。

油や食べ残しなどを流すと、下水道管の中で固まってしまい、管の詰まりや悪臭の原因になります。



▲油などが付着し詰まった下水道管

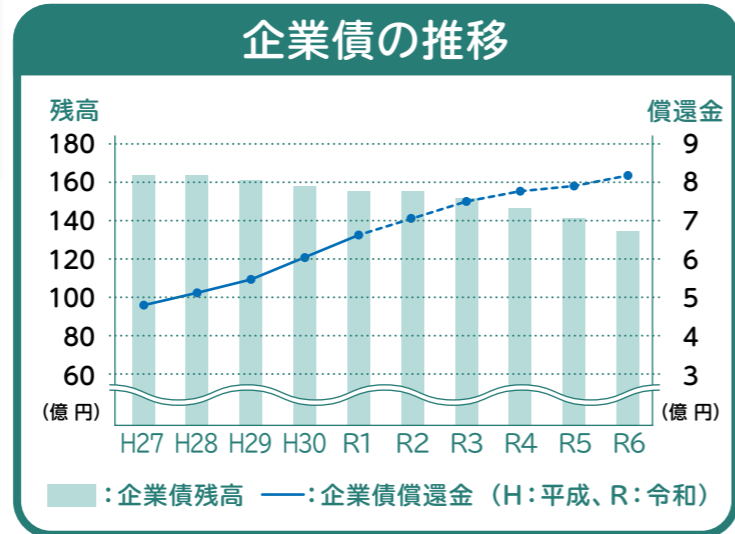
### ●トイレでは、トイレットペーパー以外のものを流さないでください。

ティッシュペーパーや生理用品、紙おむつなど、水に溶けないものをトイレに流すと管の詰まりやポンプが故障の原因になります。

下水道を正しく使っていただくことで、下水道管や処理施設の寿命を伸ばし、維持管理の経費を節約することができます。下水道の出発点は、各家庭や事業所です。日ごろから汚水の流し方にご注意ください。



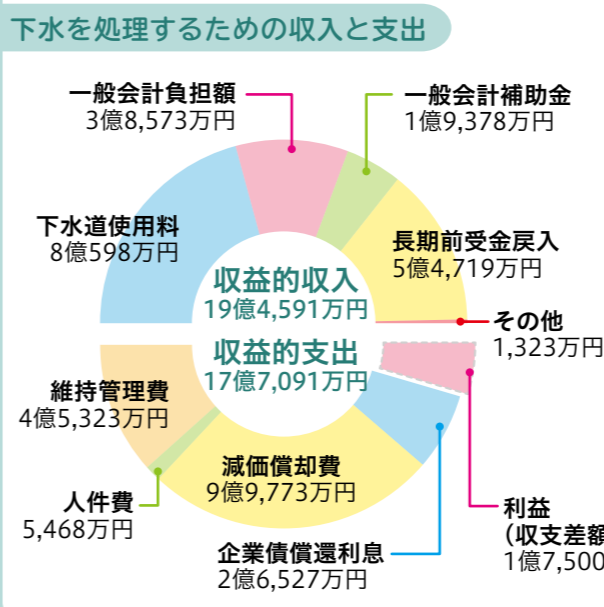
▲污水管渠築造工事の管を敷設している状況



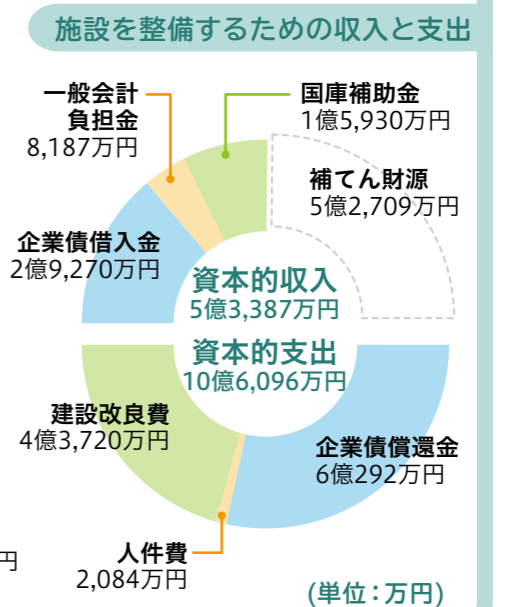
### 平成30年度の主な建設改良事業

- 畦町地区污水管渠築造工事
- 東福岡地区污水管渠改築工事
- 若木台地区マンホール蓋取替工事
- 福岡浄化センター汚泥処理施設増設工事

### 収益的収支



### 資本的収支



### 語句の説明

**減価償却費** 下水道施設などの資産の価値が1年間で減少した分を費用化したもの

**長期前受金戻入** 下水道施設などの資産を整備したときに国、県からもらった補助金などを、減価償却に対応して収益化したもの

**企業債** 下水道施設の整備のために借りたお金。下水道施設を整備するには多額のお金が必要となり、その費用を一括で支払うと資本的収支に大きな影響を及ぼすことになる。一方で、整備した施設はその後数十年に渡り使用するのので施設を利用する世代間の負担を公平にするため、財源として活用している

**補てん財源** 資本的収支において財源不足を補うもの。減価償却費など現金の支出を伴わない費用によって企業内に残された資金(現金)などで構成される

問い合わせ 市下水道課 ☎62・5068